

平成25年度 全国学力・学習状況調査
～石狩市における結果の概要～

石狩市教育委員会

はじめに

本市の子ども達の学力は、依然として全国平均を下回っている厳しい状況にあります。

平均正答率で見ますと、小・中学校いずれの教科においても、全国を上回る教科はありませんでした。しかし、昨年度に比べ、小学校では、国語A・B、算数A・B全ての教科において全国との差が縮まり、大きく改善しました。中学校では国語Bで後退しましたが、その他の教科において全国との差が縮まり、改善が見られました。

さらに、学校ごとにみますと、各教科において、全国平均を上回る学校が増加しています。小学校では、昨年度と比べ全ての教科において全国平均以上の学校が増加しました。中学校では国語Aで減少しましたが、その他の教科において全国平均以上の学校が増加しています。

また、正答数で見ますと、全国の下位25%と同じ正答数の範囲に属する児童生徒の割合（以下「下位層の割合」という）は、小・中学校全ての教科で全国より多い状況にありますが、今年度は小学校の全ての教科で減少しています。特に、昨年度小・中学校を通して全国との差が最も多かった小学校国語Aにおいては、14.2ポイント差から今年度2.7ポイント差と最も減少し、各教科においても、10.0～14.2ポイント差から2.7～6.8ポイント差と改善しております。中学校においては、国語A、数学Aの下位層の割合は昨年度より減少しましたが、国語B、数学Bで増加しました。特に数学Bは全国に比べ10.4ポイント多い状況にあり、課題となっております。また各教科において、昨年度の6.5～9.7ポイント差に対し、今年度は6.0～10.4ポイントの差であり、改善には至りませんでした。

全国学力・学習状況調査の正答率が低いということは「習得することが望ましいと国が判断した個別の学習内容」が身に付いていない状態にあることを示しております。さらに下位層の割合が多いということは、「社会で自立して生きていくために必要最低限の学力」を保障する観点からも特に大きな課題と捉えております。

本調査は、「学力」だけではなく、家庭での生活習慣や学習習慣を含めた「学習の状況」も調査分析の対象としています。

児童・生徒質問紙からは、家で宿題をしている小・中学生は年々増加しており、家庭学習の習慣に改善が見られますが、時間は全国に比べ、まだまだ少ない傾向にあります。また、平日（月～金）3時間以上テレビやビデオ・DVDを見ている小・中学生の割合は、昨年度から改善されてきてはいますが、テレビゲームも含め、依然として全国より高く、家庭学習とのバランスにおいて大きな課題となっております。

学校質問紙からは、放課後や長期休業中を活用した補充的学習における積極的な取組や、授業改善・指導形態の工夫など、努力されている傾向が見られます。また、宿題を与える割合、さらに家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教える取組について、小・中学校ともに全道・全国よりも高く、増加しておりますが、学力の結果と合わせ、取り組み全体の成果と課題を総合的に把握し、対策を明確にしていくことが大切であると考えております。

子ども達の学力向上のためには、市民の皆様と危機感を共有し、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが不可欠でありますことから、今後とも市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の対象学年

小学校第6学年及び中学校第3学年

3. 調査の内容

- (1)教科に関する調査（国語、算数・数学、）
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒及び学校に対する調査）

4. 調査の方式

平成19年度～21年度は全国すべての小中学校を対象として、平成22年度は、抽出（全国で約30%）及び希望利用調査として実施されました。平成23年度は「東日本大震災」の影響で全国一斉での実施は見送られ、北海道では、札幌市を除く全ての市町村の希望参加による実施となり、平成24年度は、平成22年度同様の形式で実施されました。

本年度は、平成19年度～21年度と同様、全国すべての小中学校を対象として実施されました。

※問題の詳細については、「国立教育政策研究所」のホームページを参照してください。
「国立教育政策研究所」(<http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/index.htm>)

5. 調査実施日

平成25年 4月24日（水）

6. 調査実施学校数及び児童生徒数

小学校 13校（市内全校） 562名 中学校 8校（市内全校） 536名